

写真を活用した農村景観の評価～福井県池田町の米づくりを事例に～ (Agricultural Landscape Evaluation Using Photographs: Case of rice cultivation in Ikeda Town)

○國井大輔*、林岳*、吉田真悟*、伊藤暢宏*、丸山優樹*

○Daisuke KUNII, Takashi HAYASHI, Shingo YOSHIDA, Nobuhiro ITO, Yuki MARUYAMA

I. はじめに

生態系サービスの中でも文化的サービス(以下CES)は、地域の歴史や自然条件を背景とした人間活動に強く影響を与えるものである一方で、CESを供給する農村景観は、農業生産活動等の結果として形成され、農業生産に関する意思決定から影響を受けている(Bethwell et al., 2022 参考)。このような相互関係にあるCESと景観であるが、農村景観を対象とした政策において、CESのコンセプト活用事例は少ない(Balazis et al., 2021)と指摘されている。今後、農村地域における意思決定にCESのコンセプトを活用するためには、政策ニーズを捉えた研究が必要だろう。そこで本研究では、町役場と連携し、農村地域における米づくり風景の評価に関する調査を行った。

II. 調査方法

調査は、2022年11月5日から6日にかけて、福井県池田町で開催された「いけだ食の文化祭」の駐車場において、祭りの来場者を対象とする投票形式のアンケート調査を行った。調査対象は年齢や性別に関係なく、回答者1人につき1枚の投票用紙を配布した。アンケートは、池田町役場担当者監修のもと、池田町の米づくりに関する風景のカテゴリとして「景観」、「生産」、「生物」、「食」、「文化」の5つを設定し、カテゴリごとに5枚ずつ、池田町内で撮影された写真を選定し、A2サイズに印刷したポスターを祭り会場に掲示した。回答者は、池田町における米づくりの風景で最も好きな写真を選定するという趣旨の説明を受けたのち、各カテゴリ5枚ずつの写真から最も好きな写真へ投票を行い、その後5つのカテゴリから最も印象に残ったカテゴリへ投票を行った。また、投票用紙には別途ビンゴ形式の6つの質問を記載した(質問:性別、年齢、住居、稲作の有無、池田町への訪問回数、小学生か否か)。景観評価方法はアンケートやインタビューによるものが主流であるが、コロナ禍において対面でのアンケート調査が行いにくくなっている。そのため、今回はできる限り回答者との接触や負担を減らした調査を行う方法として、ビンゴ形式投票用紙を使った調査を試みた。

III. 結果と考察

回答者は、中学生以上が82.7%と大部分を占めており、性別は女性が58.1%と男性よりも若干多い傾向にあった。また、回答者の居住地は、池田町外かつ福井県内が87.8%、福井県外が7.7%であるのに対して、池田町内は4.5%であった。さらに、自宅で稲作を

所属 *農林水産政策研究所 Policy Research Institute, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Keywords: 生態系サービス、文化的サービス、景観、稲作、風景

していない回答者が 85.1%であり、回答者の多くは稲作をしていない池田町外からの来場者である。各カテゴリへの投票数は、「景観」が 38.9%と最も高く、全体としては池田町の米づくりの風景について景観への選好が強いことが示唆された。

そこで、選好の最も強かった景観をリファレンスとして各カテゴリと回答者属性の関係について、多項ロジスティック回帰分析を行った（第1表）。小学生以下の回答者は景観と生物、中学生以上では景観と食への選好が強く、特に食については女性において選好が強い。また、居住地による差をみると、池田町民でより生産への選好が強くなり、福井県外では文化が強くなる傾向が示された。

第1表 写真カテゴリの選択に関する多項ロジスティック回帰分析

変数	リファレンス：景観										
	食		生産		生物		文化				
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差			
切片	-0.66	(0.54)	-0.39	(0.51)	-0.44	(0.57)	-1.18	(0.68)	+		
年齢 小学生以下ダミー (参照：中学生以上)	0.38	(0.3)	0.69	(0.33)	*	1.34	(0.28)	***	0.67	(0.31)	*
性別 女性ダミー (参照：男性)	0.47	(0.21)	*	-0.26	(0.25)	-0.65	(0.23)	**	-0.19	(0.23)	
居住地	福井県内ダミー (参照：池田町内)	-0.27	(0.53)	-0.78	(0.5)	-0.33	(0.57)	0.19	(0.67)		
	福井県外ダミー (参照：池田町内)	-0.24	(0.62)	-2.07	(0.88)	*	-0.83	(0.73)	0.43	(0.75)	
稲作 経験 稲作経験ありダミー (参照：稲作経験なし)	-0.50	(0.3)	0.19	(0.31)	-0.64	(0.37)	+	-0.22	(0.33)		
対数尤度	-1062										
MacFadden R2	0.029										

注1：サンプル数=728

注2：+ p < 0.1, * p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

IV. まとめ

本研究では、農村における米づくりの風景（景観、生産、生物、食、文化）をテーマとして、人々の選好を調査した。その結果、年代、性別、居住地による選好の違いが明らかとなった。地域の意思決定に CES を活用するにあたっては、このような属性による選好の違いを考慮する必要があるだろう。写真に対する選好の違いやカテゴリに関する詳細な分析は今後の課題とする。

引用文献

Balázsi, Á., Dänhardt, J., Collins, S., Schweiger, O., Settele, J., Hartel, T. (2021) "Understanding cultural ecosystem services related to farmlands: Expert survey in Europe" Land Use Policy 100, 104900.

Bethwell, C., Sttler, C., Stachow, U. (2022) "An analytical framework to link governance, agricultural production practices, and the provision of ecosystem services in agricultural landscapes" Ecosystem Services 53, 101402.